

中央公民館

- ・十年後の恋 (辻仁成)
- ・むらさきのスカートの子 (今村夏子)
- ・お願いおむらいす (中澤日菜子)
- ・平安ガールフレンス (酒井順子)
- ・マジカルグランマ (柚木麻子)
- ・飛族 (村田喜代子)
- ・わたしの美しい庭 (凧良ゆう)
- ・立て板に泥水 (深爪)
- ・できない相談 (森絵都)
- ・八月の銀の雪 (伊与原新)
- ・自転しながら公転する (山本文緒)
- ・母影 (尾崎世界観)
- ・お探し物は図書室まで (青山美智子)
- ・元彼の遺言状 (新川帆立)
- ・52 ヘルツのクジラ (町田そのこ)
- ・改良 (遠野遥)
- ・PRIDELESS (藤森慎吾)
- ・児童書
- ・「ママのしあわせ」
- ・「まみちゃんのなみだのあじ」
- ・「かあさんのこもりうた」
- ・「きょうはおかねがないひ」
- ・「ピンポンパンポンプー」

※ここに記載の他、多数の新刊図書が入っています。

衣奈会館

- ・大名側産 上・下 (浅田次郎)
- ・今日もほっちです。 (賽助)
- ・工場のおぼちゃん (山口恵衣子)
- ・妻紅 (矢野みさき)
- ・紀州のエジソンの女房 (梶山寿子)
- ・雪のなまえ (村山由佳)
- ・警察犬になったアンズ (鈴木博房)
- ・志麻さんの極上おやつ (志麻)
- ・冷蔵庫で作っておきパン (吉永麻衣子)
- ・うめ婆行状記 (宇江佐真理)
- ・コロナと潜水服 (奥田英朗)
- ・オルタネート (加藤シゲアキ)
- ・推し、燃ゆ (宇佐見りん)
- ・野良犬の値段 (百田尚樹)
- ・犬がいた季節 (伊吹有喜)
- ・インビジブル (坂上 泉)
- ・カカ・ムラド (ガフワラ)
- ・児童書
- ・「つきーとカーコのたからもの」
- ・「生物対決スタジアム①④」
- ・「災害サバイバルマスター①④」

白崎会館

- ・紅蓮の雪 (遠田潤子)
- ・それでも、陽は昇る (真山仁)
- ・灰の劇場 (恩田陸)
- ・老親友のナイシヨ文 (横尾忠則)
- ・80歳、歩いて日本縦断 (石川文洋)
- ・櫓太鼓がきこえる (鈴木ふみ)
- ・十の輪をくぐる (辻堂ゆめ)
- ・旅する練習 (乗代雄介)
- ・小隊 (砂川文次)
- ・逆ソクラテス (伊坂幸太郎)
- ・児童書
- ・「どっちが強い!？」
- ・動物オリンピック編スポーツ王決定戦
- ・「どっちが強い!？」
- ・オオトカゲVSワニガメ
- ・「どっちが強い!？」
- ・ライギョVSピリア
- ・「超高層ビルのサバイバル(1・2)」
- ・「おててでたこ」
- ・「カビカひかるたいこえほん」
- ・マンガ
- ・「呪術廻戦 (全巻)」



由良町公民館だより
2021春号
令和3年 4月 1日

- ・中央公民館 (日高郡由良町網代248-12 ☎65-2418)
- ・衣奈会館 (日高郡由良町衣奈765-7 ☎66-0921)
- ・白崎会館 (日高郡由良町吹井910-2 ☎65-3510)



思いやりの心を・・・

昭和40年頃に発行された公民館報の紙面に、「姑は何も言わないけれど」というタイトルの記事があり、その後続く言葉が気になり目を通した。嫁姑問題は世の常である。

不満のベスト1は「やさしい言葉を・・・」。時世が変わっているのは承知の上で、例えば、先に風呂に入ろうが先に寝ようがかまわないけれど、せめて「お先に」の一言が言えないものか？また、気分が悪くて早寝していても「どうですか？」と心配する言葉ひとつもくれない等々、いくつかの不満が書かれていました。当然、お嫁さんからしてみても、お姑さんに対して不満はあったことでしょう。文末には、「お互いに相手の立場になって物事を考えることが、気持ちよく暮らしていくために、何よりも大事なことではないでしょうか」と結んでいました。これは前例に限らずすべての人間関係において当てはまることでしょう。

昨今では、直接会話するよりもメールやラインなどの媒体を通してコミュニケーションをとることが多くなってきています。昔から「長者の万灯より貧者の一灯」といわれるように、心のこもったたったひとつの灯が相手の心を一層明るく照らし勇気づけることとなるでしょう。

近年の自然災害やコロナ禍における時代を生きる私達にとって、日本人ならではの思いやりの心を今一度問い直してみませんか。



【4月～6月の行事予定】

【中央公民館】

*山野草展示会
4月24日(土)
25日(日)

*由良町文化協会

ゴールデンウィーク展
4月29日(木)～
5月5日(水)

※都合により、日程の変更または、中止になる場合があります。

新年度も実施しています！

*太極拳教室

毎月第2・第4金曜日
午前10時～午前11時30分まで

*書道教室

毎月第2日曜日
午後1時～午後3時まで

ブックリサイクル

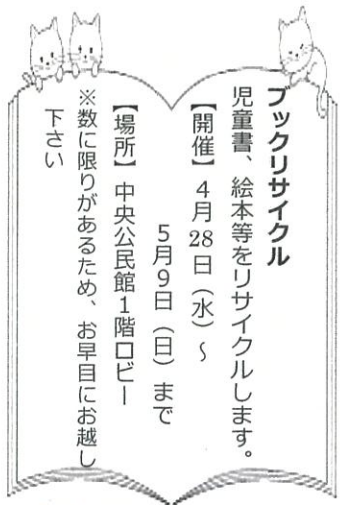
児童書、絵本等をリサイクルします。

【開催】4月28日(水)～

5月9日(日)まで

【場所】中央公民館1階ロビー

※数に限りがあるため、お早目にお越し下さい



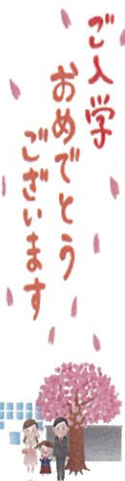
【報告】中央公民館

生け花教室

昨年12月26日(土)、中央公民館において、小学5・6年生対象の生け花教室を開催しました。講師は、城本幸子先生、片岡三千代先生、野手みゆき先生で、お正月用のお花の生け方を教えていただきました。

当日は、7名の小学生が参加され、材料の長さやバランスなど、工夫しながら生けていました。やや緊張した様子でしたが、個性あふれるお正月用の生け花が出来上がりました。

ご家庭でも学んだことを参考にして、生けられたことと思います。お正月の玄関がより一層華やかになったことでしょうか。



新1年生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

中央公民館、衣奈会館、白崎会館では、毎週土曜日午前9時30分～午前11時30分まで子ども未来塾を開催しています。

先生方は、

*中央公民館

小田 享子先生

寒川 明子先生

*衣奈会館

坂田 悦子先生

*白崎会館

岩崎 一也先生 です。

この4名の先生方は、小学校での教諭経験があり、分かりやすく勉強を教えてくださいます。2年生から6年生のお兄さんやお姉さん達も楽しく勉強をしています。

新1年生のみなさん、一緒に勉強しませんか。



【短歌】

詠み初めは少女期なりき刈りあとの田にたがれし山羊思ひ出づ
宿坊の庭眺めつつゆつたりと二段重ねの朱簾いただく
裏庭に七草を摘む小寒の(あした) ちらちら綿雪の舞ふ
迷ひなく育て励み来し山畑を息子らに委ねて日々安らげき
九十糶の鯛釣れたよと告ぐる孫の笑顔は亡夫と重なりて見ゆ
正月の帰省を自肅せし吾子に贈答用のミカンを送る

二本松 せつ子
坂田 ひろ美
塩路 弘子
濱田 順子
大西 克恵
山下 清美

【俳句】

鳥帰る助走軽やかシベリアへ
由良俳句五十周年梅探る
音の無き雨の明るさ数柑子
鳥の眼はときに鋭し梅一輪
白杖の上から見守る寒すずめ
春風に絵馬カタカタと揺れてをり
この川に長居許され残る鴨
身のうちに扉を探す露の臺
海苔を食べ八十路のりこえ生きてゆく
海苔焙る朝のすみずみ活気つく
古草の猛者が相手の川掃除
夜話はヤマタノオコチ手枕で
荒鋤きの土の匂ひや棚霞
鼻に目を澄ませば闇深し
春光や暗き御堂の二体仏
寒雀一人囀しの水の音
浦山の裾辺漸う梅兆す
水の無き溝に咲きをり鼓草

伊藤 秀一
上本 郁子
片山 綾子
北岡 ゆみ
木本 タヨ子
小谷 かおり
小山 ひとみ
坂田 妹子
高橋 義巳
竹中 桃代
田淵 佳根
寺井 由美
西川 初枝
広瀬 峰雄
藤田 薫
山下 治子
吉村 美恵子
柳岡 百合江

【川柳】

年重ねいつもあなたの傘の下
傘をさす彼氏の方は雨にぬれ
傘の中寄り添う二人密ですよ
母の傘豊かな情で守られる
小さいころ破れ傘なつかしい
絶対に開いてならぬ核の傘
美白なら傘が一番上がり
なつかしい相合い傘で雨が好き
傘開くかえるの親子雨宿り
くるくると回る番傘こま走る
いつまでも私あなたの傘の中
番傘に下駄でぶらりと湯治宿
傘忘れ探す気も無く新を買ひ

井口 きよみ
門田 明美
井上 充明
貴志 治郎
高橋 義巳
谷中 克己
田代 豊子
中崎 枝美子
中崎 文香
西川 美代子
中口 小夜美
山下 きよみ
平石 敏弘

紀の国わかやま文化祭2021

毎年、国民文化祭及び全国障害者芸術・文化祭が開催されています。

今年、わが和歌山県での開催となり10月30日の開会式を皮切りに、11月21日までの間に県内全ての市町村で作品の展示や公演など、様々なイベントが行われます。

この祭典は、参加することにより、口頃味わえない喜びや感動を体験され、住民の皆様方の文化力の向上を図るともに、文化遺産や伝統芸能などの継承、また、この地域ならではの新たな文化の創造に繋げることを主旨としています。

開催期間中に行われるイベント等については、公民館にパンフレットを備えていますのでご確認ください。

